## >>>>>>>>>>>>>>>>>> 中国大学生の就職事情 <<<<<<<<<<<<<<<<<

「末は博士か大臣か」－現在、日本は大学全入時代を迎え、この言葉の現実味も随分と希薄になりました。一昔前までは考えられなかった定員割れや、留学生が多数を占める大学も珍しくなくなりました。

中国の大学は、当然のことながら国公立大学が主体です。90 年代からは、日本でいえば私立大学に相当する民営大学が設立されていますが、その実力は不確定です。

国公立大学は、北京大学や清華大学など国家級の重点大学から地方の名門校などを含め約 1,900 校（＊）あります。毎年 6 月に実施される統一試験（＝日本のセンター試験にあたる）に、両親の期待を背負った学生らが人生をかけ臨みます。一人っ子政策に加え、面子を重んじる中国の学生には相当なプレッシャーがかかっていることでしょう。

中国では 9 月から第一学期が始まり、最終学年後半の春節（旧正月、毎年 1～2 月）明けから就職活動を開始し、１～２か月で内定を獲得します。就職活動の内容は、大学の職業紹介サービスを始め、人材紹介・派遣会社の就職説明会への参加など日本とよく似ていますが、その説明会が大学構内で開催されることも多いのが中国の特徴といえます。公務員は“鉄飯碗（＝安定した確実な仕事）”の為、一定の人気を維持しています。

大学への進学率は約 20％程度であり、2007 年度の大学卒業生は 448 万人（＊）。中国の団塊世代（1947 年～49 年生まれ）が退職を迎えているため、就職の際には引く手あまたと思いきや、意外にも卒業生の約 3 割が就職先を見つけられない“就職難”となっています。その背景には以下のような要因が重なっていると考えられます。

＊何れも中国の教育制度と統計分類上、短大・専門学校を含む数値。

### ○新卒の価値とキャリアプラン

中国ではビジネスの経験と資格があるほど就職し易いといわれています。大学が増えた結果、大学生に以前ほどの希少価値はなく、また、新卒は「即戦力ではない」ので、日本ほどには重宝されないという現実があります。事実、最低賃金や管理職、マネージャークラスの給与が上昇傾向にあるのに対し、新卒の給与は驚くほど低額で、場合によっては前年より下がっていることもあります。但し、就職後は、その能力や取得した資格により、短期間で大きくキャリアアップすることもできます。元来、転職にも抵抗がなく、職場が自分に与えるチャンスを重視し、更に地域差はありますが、起業精神も強いという傾向は、欧米の成果主義に馴染むものといえます。

### ○戸籍制度～社会保障制度の未整備～

都市戸籍と農村戸籍では享受できる社会保障の差が依然として大きく、また個人の希望で変更することは実質不可能といえます（高額な不動産投資等特殊な条件下では可能）。戸籍の違いは統一試験にも影響します。合格ラインが大学の地元出身者（＝一般的に都市戸籍所有者）に有利となっているからです。また、大学卒業後には勤務先の所在地の戸籍へ変わるため、例えば上海の大学に入学した人が、卒業後、都市戸籍を取得するため（或いは維持するため）に給与が低くとも上海の企業への就職を希望するケースが発生します。

このように、大学への進学と就職が一生に及ぼす影響は、無視できないほど大きいものとなっています。

### ○人材供給のミスマッチ

規制緩和により、経済成長の牽引役である外資系企業が中国へ投資できる業種の範囲が広がりました。このため、技能＋外国語能力を持つ人材、特に外資系企業での実務経験のある転職者への需要が急増しています。政策の追い風もあり、新卒者でも環境保護・省エネ関係の理系技術者などは、就職難とはいえその他の専攻学科よりはるかに有利であり、職能によっては売り手市場となっています。

その他、中国側が各種人材育成プランを打ち出す一方で、IT・サービス業界では求められる人材も多種多様なため、必要なスキルを持った人材がみつからないといった企業側の声も耳にします。

また、日系企業の良き文化ともいえる「新人育成」や「チームワーク」、「企業の安定性」といった点は、残念ながら中国で十分に理解されているとは言い難い状況です。現地化への対応の遅れから、手塩にかけて育てた人材がキャリアアップのため転職していくケースがよく見られます。また、一部の日系大手企業を除いては、必ずしも第一希望の就職先とはなっておらず、結果として、就職難にも関わらず、企業にとっては「人材不足」が生じます。そこで、最近では、欧米企業・日系企業とも優秀な人材確保のため、大学の技術者養成コース等の開設に経済的、人的な協力を行っているほか、新労働契約法の施行とあわせた人事制度改革を実施しています。

中国の大学生は、景気変動の影響だけではない、労働環境と人材の需要・供給の不均衡による就職難に直面しています。人材不足にも関わらず就職難、これもまた、中国という大国の高度成長のひずみをあらわしているといえます。

《岡野》